

米代川水系流域治水プロジェクト【中間とりまとめ（案）】

～秋田県北地域を守る流域が一体となった治水対策の推進～

○ 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、米代川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、流域で甚大な被害が発生した昭和26年洪水（前線）＜上流部で戦後最大＞及び昭和47年洪水（前線）＜下流部で戦後最大＞と同規模の洪水に対して家屋浸水を防止し、気候変動も踏まえて流域における浸水被害の軽減を図る。

位置図



■河川における対策

対策内容 河道掘削、堤防整備 等

■流域における対策

- ・利水ダム等9ダムにおける事前放流等の実施、体制構築（関係者：国、秋田県、岩手県、東北電力㈱、三菱マテリアル㈱、土地改良区など）
 - ・開発行為に対する雨水貯留・浸透施設の設置指導
 - ・防災拠点等の整備
 - ・立地適正化計画の策定・見直し
 - ・下水道の雨水幹線の整備 等
- ※今後、関係機関と連携し対策検討

■ソフト施策

- ・危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置
 - ・教育機関との連携による出前講座・防災教育の拡充
 - ・講習会等によるマイ・タイムライン普及促進
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進 等
- ※今後、関係機関と連携し対策検討

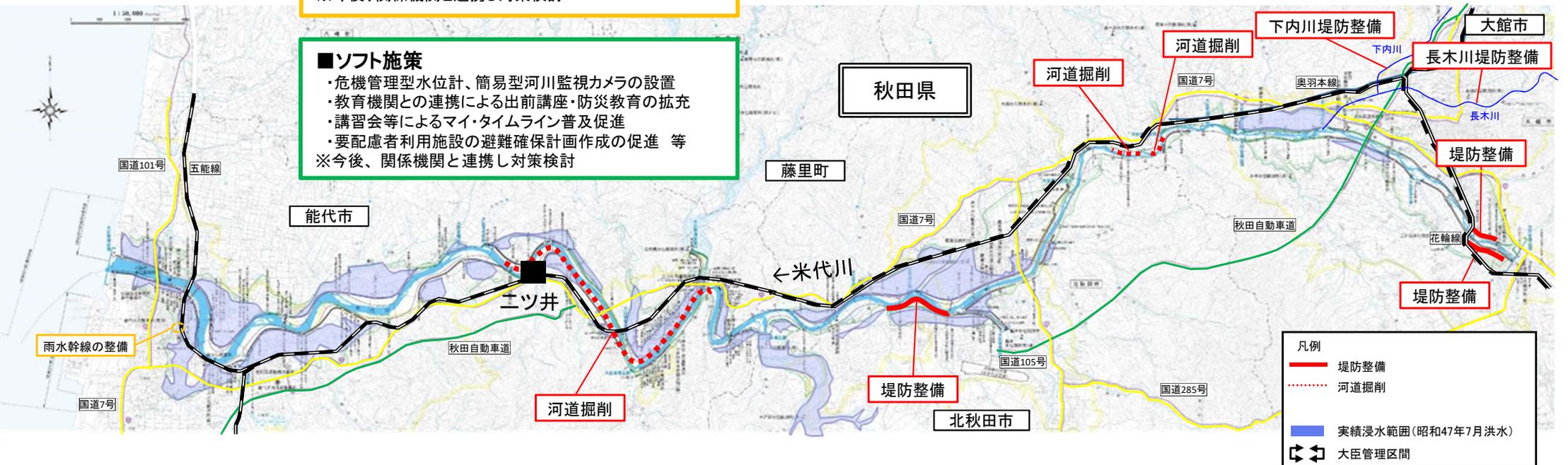
昭和47年7月洪水



能代市ニツ井町付近の浸水状況



能代市中川原地区の堤防決壊



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。